

意見募集の概要は、次のとおりです。

■実施期間 平成24年2月1日から平成24年2月20日まで

■実施方法 広報紙2月号に新庁舎建設基本方針(案)の概要と意見シートを掲載し、基本方針(案)の6つの項目(①耐震改修の可能性と新庁舎建設の必要性、②新庁舎の考え方など、③新庁舎の規模など、④新庁舎の建設候補地など、⑤新庁舎の位置の選定、⑥建設の目標年次)について自由に書き込む形式で意見を募集しました。

■提出方法 意見シートの郵送または町内公共施設へ持参

■配布戸数 10392世帯

■回収枚数 328件の意見シートの提出があり、809件の意見などをいただきました。

■集計結果 ①～⑥の項目の意見と「その他」意見として7分類に集計しました。新庁舎を建設するのではなく、他の施策を優先するべきという意見は、「その他」に集計しました。

▼結果一覧表

分類	件数	構成比
項目①	148	18.3%
項目②	86	10.6%
項目③	141	17.4%
項目④	48	5.9%
項目⑤	240	29.7%
項目⑥	79	9.8%
その他	67	8.3%
合計	809	100.0%

幕別町新庁舎建設基本方針(案)に対する意見募集の結果

町では、新庁舎の建設に際し、多くの住民の皆さまの声を反映させ、庁舎のあり方を検討していく必要があると考え、広報紙2月号に意見シートを掲載し、新庁舎建設基本方針(案)に対する意見を募集しました。今月号では、町民の皆さまからいただいた主な意見などについて、お知らせします。なお、意見募集の詳細な結果と提出いただいた全ての意見は、幕別町役場1階ロビー、札内支所、忠類総合支所で閲覧できるほか、町のホームページでもご覧いただけます。

■問い合わせ先 企画室 TEL【幕】54-6610

1 耐震改修の可能性と新庁舎建設の必要性

『築後39年が経過している現庁舎は、多額の改修費用に見合った使用期間の延長が見込めない状況です。今後ますます多様化する行政需要に対応し、住民の利便性などを総合的に判断した結果、現庁舎の耐震補強工事を施工するのではなく、新庁舎の建設が最良である』という項目①に対して148件の意見が寄せられました。

【主な意見】

- 新庁舎の建設は必要(118件)
- 耐震改修で対応すべき(18件)
- 他の施設を利用すべき(5件)
- 耐震診断結果、改修費用に疑問を感じる(3件)
- まだ現庁舎は使用できる(1件)
- もう一度住民アンケートを実施すべき(1件)

2 新庁舎の基本的な考え方など

『新庁舎はすべての方が利用しやすいユニバーサルデザインが図られ、防災・復興拠点としての機能を十分に備えた庁舎であること。また、窓口機能や省エネに配慮した施設管理機能などの導入についても、十分

検討していく必要がある』という項目②に対して86件の意見が寄せられました。

【主な意見】

- 基本方針(案)に賛成する(56件)
- 経費の縮小、スリム化を図るべき(4件)
- 支所機能を拡充すべき(2件)
- 木造2階建てが良い(2件)
- ユニバーサルデザイン等にこだわりすぎて、費用増加にならないか(2件)
- 独自性をデザイン等に盛り込むべき。(1件)
- 人口の多い、札内地区の防災対策に配慮を。(1件)

3 新庁舎の規模など

『平成23年度地方債計画において、庁舎整備事業の標準面積・標準単価は廃止されていますが比較検討を行う参考として、廃止前の庁舎建設事業費算定上の「人口5万人未満の市町村」基準で算出すると、総標準面積は5070㎡となります。この5070㎡を基本に、事務室の拡充や保健福祉センターと教育委員会の事務所スペースの集約化など、現庁舎にはない機能確保のス

ペース等を考慮し、新庁舎における想定面積をおおむね6000㎡とする項目③に対して141件の意見が寄せられました。

【主な意見】

- 必要最小限の費用、面積とすべき(45件)
- 基本方針(案)に賛成する(23件)
- 既存施設を有効活用し、必要最小限の費用、面積とすべき(17件)
- 保健福祉センターと教育委員会の行政機能は集約すべき。(13件)
- 木造とするべき(9件)
- 人口密度等に考慮した規模とすべき。分庁舎とすべき(5件)
- 幅広い角度から再検討すべき(4件)
- 必要とする面積を積み上げて検討するべき(3件)
- 行政、議会が主体的に考えるべき(2件)
- 現状の規模とすべき(2件)
- ある程度の余裕、スペースは必要だが、十分検討すべき(2件)

4 新庁舎の建設候補地の条件など

『次の4つの条件を備えた場所を基本に建設候補地を選定する』とする項目④に対して48件の意見が寄せ

- ◇敷地面積 必要な建築面積などを確保できる敷地面積があること。
- ◇用地確保 町有地のいづれかに建設。
- ◇利便性 交通事情や他の官公署施設などとの利便性が高いこと。
- ◇均衡ある発展の確保 市街地の三極化という幕別町の特性を考慮した、各地域の均衡ある発展の確保に寄与すること。

【主な意見】

- 基本方針(案)に賛成する(16件)
- 人口状況を重視すべき(9件)
- 新たな用地取得は行わない(5件)
- 均衡ある発展を優先、考慮すべき(2件)
- 忠類の合併や町の発展、歴史的なことも十分配慮すべき(1件)
- 防災の拠点となるべき安全で交通のアクセスの良い場所(1件)

5 新庁舎の位置の選定

『基本方針(案)として新庁舎の建設位置は、次の観点から「現庁舎敷地に選定」する』とする項目⑤に対して240件の意見が寄せられました。

◇地勢上、忠類地区と札内地区を結ぶ上での中間点に位置すること。

◇交通事情の優位性があること。

- ◇農協、郵便局、森林組合、幕別消防署、東部耕地出張所、帯広警察署幕別駐在所の集積があること。
- ◇大規模施設の建設に伴う周辺の住環境への影響が少ないこと。
- ◇止若公園用地の一部転用に伴う代替地の確保が容易である。
- ◇幕別町全体の均衡ある発展に貢献すること。
- ◇防災拠点として立地性が高いこと。

【主な意見】

- 札内地区に建設すべき(126件)
- 基本方針(案)に賛成、幕別地区に建設すべき(96件)
- 最初から現庁舎ありきでは話にならない(2件)
- 住民が安心して暮らせる場所に建設(1件)
- 町の活性化がより進展する位置を選定して欲しい(1件)
- 帯広に近い札内のメリットを生かすべき(1件)

6 建設の目標年次

『建設に要する財源として、国の補助事業の活用と、後年次の元利償還金への普通交付税措置が設定されている合併特例債の充当を見込み、平成27年度末までの完成を目途とす

る』という項目⑥に対して79件の意見が寄せられました。

【主な意見】

- 基本方針(案)に賛成する(39件)
- 早期着工・完成を(17件)
- もう1〜2年、基本構想の策定期間を(2件)
- 町民が安心安全に暮らせる町になるため、本分を忘れずに(2件)
- 多角的な検討のうえ目標年次を決めるべき(1件)
- 合併特例債を活用すべき(1件)

7 その他の意見

『新庁舎を建設するのではなく、他の施策を優先するべき』という「その他」の意見は、67件寄せられました。

【主な意見】

- 財政状況において、新庁舎建設は反対である。財政健全化や他の施策を優先すべき。(24件)
- この意見募集の方法が理解できない。アンケートをやり直すべき。(8件)
- 白紙による提出(3件)
- 新聞報道による定住対策。札内地区の人口増加のために、雇用の場の確保のために、予算を使うべき。(2件)